

はなまきじょうあと はくつちょうさ じょうもんじだい どき せつき ちゅうせい きん
花巻城跡の発掘調査では、縄文時代の土器や石器、中世から近
せい とうじき かわら きんぞくせいひん もくせいひん つちかべ しゅつど
世にかけての陶磁器・瓦・金属製品・木製品・土壁などが出土し
ました。

しゅつどいぶつ
出土遺物の中でも、陶磁器の出土点数が多く、輸入された中国
せいじ はくじ わん せいカ
産の青磁や白磁の碗、青花の皿なども見つかっています。国産では、
ひぜんさん とうき はち じき みのさん しがらき
肥前産の陶器の皿や鉢、磁器の碗や皿、美濃産の陶器の皿、信楽
さん かめ おおほりそうまん
産の甕、大堀相馬産の陶器の碗や皿などがあります。この他に、
かじちょうやき うえきばち
花巻の鍛冶丁焼の植木鉢も出土しています。

ぶげやしき さんのまる
これらの陶磁器は、武家屋敷が並んでいた三之丸から多く出土
します。中いんしょくぐでも飲食具の碗や皿が多いことから、日常生活で使わ
れていたもののようです。また、陶磁器の種類や出土量を見ると、
国内で陶器が盛さかんに生せい産された17世紀末から19世紀前半のものが
多いことが分かります。この時期に大量生産された陶器が、花
巻にも持ち込まれたものだと考えられます。

まるがわら ひらがわら わくぎ てつばさみ こ
ほかには、瓦は丸瓦・平瓦など、金属製品では和釘・鉄鋏・古
せん
銭などがあります。木製品

しつきわん げた おけ
は漆器碗・下駄・桶など、
といし すずり
石製品は砥石・硯が出土し
ています。屋敷や蔵くらの土壁
の一部も見つかっています。



平成6年度三之丸発掘調査出土 中国産青花